お客さまへ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

- 禁止：**器具の改造や指定部品以外の交換はしない。**（火災・感電・落下の原因）
- 禁止：**器具やランプを布や紙などで覆わない。**（可燃物をかぶせて使うと火災の原因）
- 禁止：**器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。**（火災・感電の原因）
- 禁止：**器具の照射面は高温のため近接限度内に可燃物（ドアや家具など）を近づけない**（過熱して火災の原因）

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

- 禁止：**お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の資格が必要です。**（火災・感電の原因）
- 禁止：**ランプに塗料などを塗らない。**（ランプが過熱・破損してけがの原因）
- 禁止：**器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。**（過熱して火災の原因）
- 禁止：**節電その他の理由でランプを取り外して間引き点灯しない。**
- 禁止：**ランプは落としたり、（物を）ぶつけたり、無理な力を加えない。**（ランプが破損してけがの原因）
- 厳守：**器具は指定の制御装置と組み合せて使う。**（過熱して火災の原因）
- 厳守：**明るく安全にご使用いただくために半年に１回の保守・点検を行う。**

インバータ器具の取扱い

■テレビ、ラジオなどの音響機器や、赤外線リモコン、ワイヤレス機器などに、雑音や動作不良を起こす場合があります。

■器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に作動しない場合があります。

■放送設備などの音声信号や映像信号は微弱なため、電源線や安定器の配線からの雑音を受けることがあります。

ランプ交換・器具の清掃　⚠警告 電源スイッチを切ってから行う（感電の原因）

ランプ交換

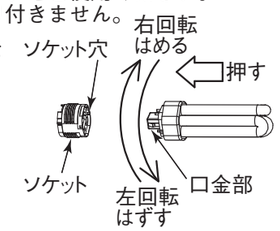
適合ランプ　BDM4101A … FHT32W（DULUX T/E）
BDM6031A … FHT42W（DULUX T/E）

ランプは、当社製ランプをご使用ください。
適合ランプ以外は取り付きません。

ランプは点滅回数が多いと短寿命になります

①ランプの取りはずしはランプをソケットに押し込んだ状態で左に回転させる。

②取付けはランプの口金ピンをソケット穴に合わせ奥まで確実に差し込む。押し込んだ状態でランプを右に回転させ取付ける。（回転角約 15°）



清掃

○ランプ・木製部分や金属部分の汚れは、やわらかい布にぬるま湯または水をつけてよく絞ってふきとってください。
○反射板の汚れは、やわらかい布でふきとってください。

⚠注意

○**ガラス管を強く握ったり無理に引かない。**（ランプが破損してけがの原因）
○**点灯中及び消灯直後のランプや器具には触らない**（高温のためやけどの原因）
○**ランプはソケットに確実に取付ける**（取付けが不完全な場合落下の原因）
○**使用済みのランプは不用意に割らない**（ガラスが飛散してけがの原因）

⚠警告

器具・ランプを水洗いしない（火災・感電の原因）

照明器具の寿命について

●**照明器具には寿命があります。設置して８～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。**
※使用条件は周囲温度 30℃、1 日 10 時間点灯、年間 3000 時間点灯です。

●周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
●３年に１回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
●点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

保証について

■保証期間は商品お買上げ日より１年間です。ただし、蛍光灯器具内蔵の安定器は３年間です。ランプなどの消耗品は対象外です。詳細は弊社カタログをご参照ください。

異常時の処置

⚠警告

煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。（火災・感電の原因）
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

この説明書は、再生紙を使用しています。

連絡先　三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船2-14-40
☎(0467)41-2729（営業本部）
☎(0467)41-2773（品質保証部サービス課）

MITSUBISHI

三菱蛍光灯器具

ダウンライト　［25 ～ 100%連続調光形］

形名　**BDM4101A　EDK**
BDM6031A　EDK

E762Z733H22

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

保管用

取扱説明書

○この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また アフターサービスもできません。
○電源周波数50Hz、60Hz共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

施工者さまへ

○施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

- 絶対に行わないでください。
- 必ず指示に従い行ってください。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

- 禁止：**引火する危険のある雰囲気で使わない。**（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない）（火災の原因）
- 禁止：**器具取付けの際は電線を挟まない。**（絶縁不良により感電・火災の原因）
- 禁止：**器具の照射面は高温のため近接限度内に可燃物（ドアや家具など）を近づけない**（過熱して火災の原因）
- 禁止：**配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。**（絶縁破壊により感電・火災の原因）
- 禁止：**電源線は器具の外郭に直接触れない。**（過熱して火災の原因）
- 厳守：**施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程に従い行う。**

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

- 禁止：**高温（35℃を超える）、高湿（85% RH を超える）、粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所で使わない。**（落下・感電・火災の原因）
- 禁止：**さびの出やすい場所、腐食性ガスの出る場所で使わない。**（劣化による落下の原因）
- 禁止：**器具は乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない。**（絶縁不良やさびにより感電・落下の原因）
- 禁止：**風呂場など水や湿気の多い場所で使わない。**（火災・感電の原因）
- 禁止：**雨水のかかる場所で使わない。**（水気・湿気が入り感電の原因）
- 禁止：**器具の外郭が天井内の造営材・ダクトに触れない。**（火災・感電の原因）
- 禁止：**表示された電源電圧以外では使わない。**（火災・感電の原因）
- **狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。**（器具が過熱して火災の原因）

お願い

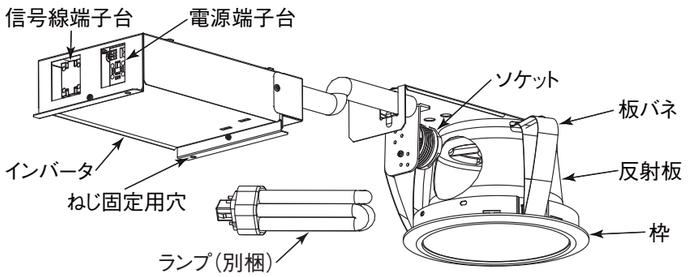
■周囲温度は５～35℃の範囲でご使用ください。
■インバータ器具の場合は、電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
■商品監視システム（防犯センサー）の一部の機器はインバータの周波数と干渉して誤作動する場合がありますので、事前に商品監視システムのメーカーにご確認ください。

知っておいていただきたいこと

○誘導及び空間波無線に対する影響
使用周波数が数百 kHz の誘導無線（同時通訳システム）及び数百 MHz の空間波無線の場合、雑音が入ることがありますので事前確認することをおすすめします。100V 電源の場合には、接地工事することにより低減できる場合があります。

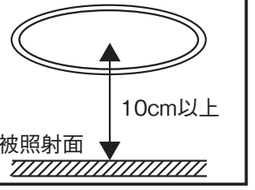
各部のなまえと取付けかた

⚠警告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）



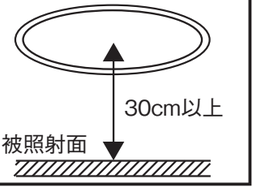
＜BDM4101A の場合＞

器具と被照射面は 10cm 以上離す（火災の原因）



＜BDM6031A の場合＞

器具と被照射面は 30cm 以上離す（火災の原因）



ロックウール等のやわらかい天井には取付けないでください
（天井材損傷・器具落下の原因となります）

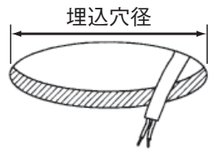
1 取付前の確認

○器具質量に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。
○補強材を入れる場合、天井内で動かないよう固定する。

⚠警告
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける（落下の原因）

2 天井に埋込穴をあける

○指定埋込穴径に対して
＋3mm、－0mm であける。

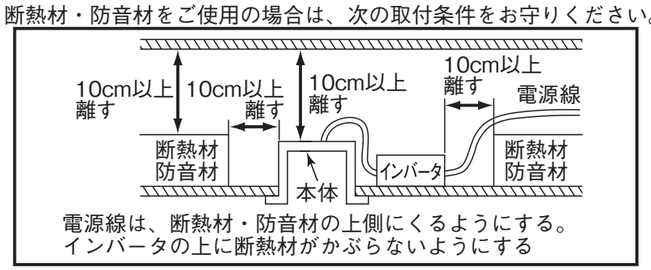


⚠警告
断熱施工天井に取付けない
（火災の原因）

指定埋込穴径（単位 mm）

形名	穴径
BDM4101A	φ 150 $^{+3}_{-0}$
BDM6031A	φ 175 $^{+3}_{-0}$

断熱材・防音材をご使用の場合は、次の取付条件をお守りください。



電源線は、断熱材・防音材の上側にくるようにする。
インバータの上に断熱材がかぶらないようにする

3 電源線を電源端子台に接続する

(1) 電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。

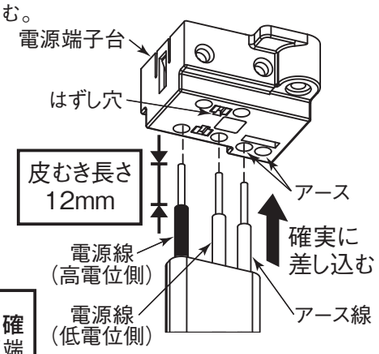
⚠警告
接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因

(2) アース線を差し込み穴に確実に差し込む。

⚠警告
アース工事は電気設備の技術基準に従い行う（アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因）

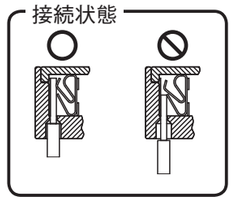
＜D 種（第３種）接地工事が必要です。＞

○電源端子台の容量は 15A です
○適合電線： φ 1.6mm 単線
φ 2.0mm 単線



⚠警告
送り配線は照明器具専用とし、容量を確認して接続する（容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因）

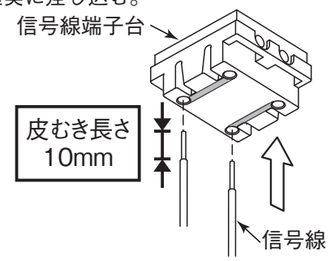
⚠警告
電源の接続は適合太さの電源線を指定長さに被覆をむき、１本ずつ速結端子の奥まで差し込む（差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因）



○電源線接続の速結端子の電源線を取り外すときは、幅６mm のマイナスドライバーを、はずし穴にまっすぐに差し込んでください。

4 信号線を信号線端子台に接続する

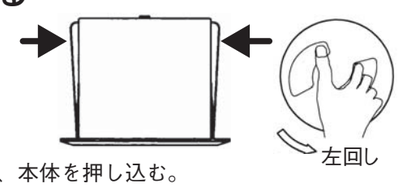
○信号線を信号線端子台の差し込み穴に確実に差し込む。
適合信号線 φ 0.9mm ～φ 1.2mm
CPEV-1P
接続が不完全な場合、動作不良の原因となります。



⚠警告
信号線端子台には電源線を接続しない
（過熱・損傷し火災の原因）

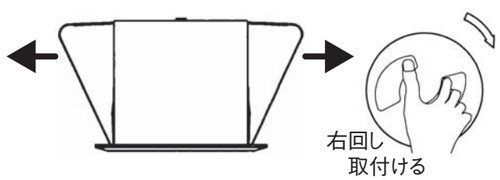
5 本体を埋込穴に入れる

○バネが本体に格納されていることを確認する。バネが外に出ている場合は、反射板の中の円盤を左へいっぱいに回し、バネを格納状態にする。



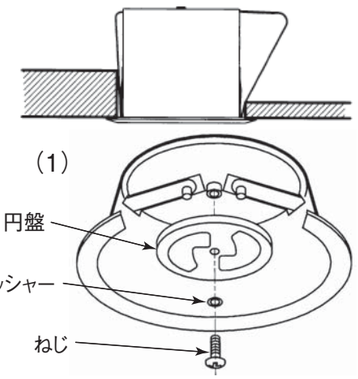
(1) 天井埋込穴にインバータを挿入し、本体を押し込む。
○インバータは天井裏の平らな所に反転、横転しないよう設置する。
また、本体反射板に接触しないようにする。
○インバータは木ねじ（客先手配）で固定することができます。

(2) 枠を天井に密着させながら、円盤を右（時計回転方向）へカチッと音のするまで回す。（約 180°）
バネが張り出して、器具が天井に固定されます。
○取り外しは、円盤を左へいっぱいに回し、本体を引き落とす。

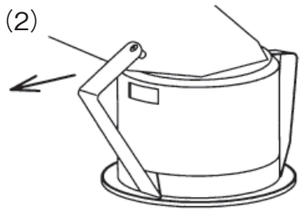


6 バネを左右均等に張り出せないとき

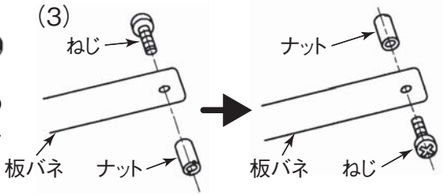
(1) バネの片側にＣチャンネルや梁があり、円盤の回転だけでは、器具を天井に密着できないとき、円盤の中央にあるねじをゆるめ、円盤を外す。



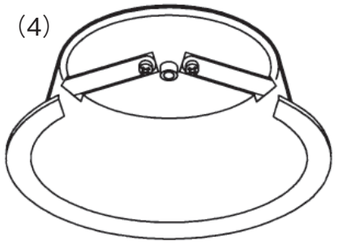
(2) バネの先端を反射板より引き出す。

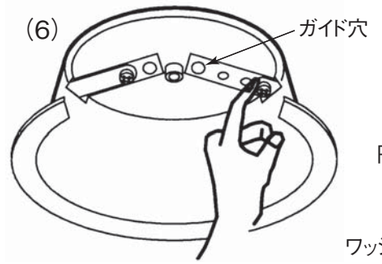


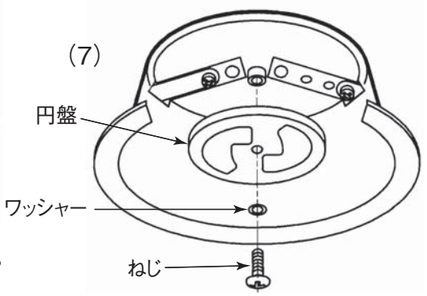
(3) ねじをゆるめ、バネ先端のナットを外し、上下反対に再度組み立てる。



(4) 反射板の中へバネを中央いっぱいまで戻す。
(5) 本体を埋込穴へ入れる。
(6) バネの先端を下げながら押し込み、器具外側へバネが張り出せる限界でナットをガイド穴へ入れ、バネを固定させる。







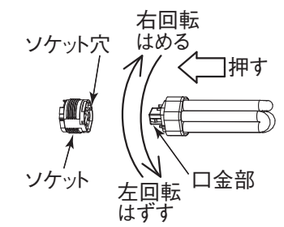
(7) 円盤をかぶせ、ねじ止めする。

7 6 の操作で取付けた器具の取り外し

○６の操作により取付けられた器具は、円盤を左へ回してもバネが器具内へ格納できないので、円盤をはずし、バネを反射板内へ戻してから器具を取り外す。

8 ランプを装着する

○ランプの口金ピンをソケット穴に合わせ奥まで確実に差し込む。押し込んだ状態でランプを右に回転させ取付ける。（回転角約 15°）



⚠注意
○取付けが不完全な場合
落下の原因
○**ガラス管を強く握ったり、無理に引かない。**（ランプが破損してけがの原因）